

中国・北京市場の動向を探る ～中国北京市場開拓セミナーの開催～

北京事務所

自治体国際化協会北京事務所では、3月14日(木)から15日(金)まで、中国における市場開拓の契機づくりを目的とした「中国北京市場開拓セミナー」を開催しました。

1 事業概要

講演形式のセミナーと2日間にわたる大手スーパーの視察を通して、小売店舗や業務用流通経路を中心とした中国・北京市場の動向を探りました。

日 程：3月14日(木) 中国北京市場セミナー及び北京市内大手スーパー視察・意見交換 3月15日(金) 北京市内大手スーパー視察・意見交換
場 所：北京市長富宮飯店2階「月季」ほか
主 催：(財)自治体国際化協会北京事務所
参加者：在中国の8つの自治体事務所と関係機関から計27名(講師、視察先関係者を除く) (在中国自治体事務所：福島県、山形県、長野県、茨城県、岐阜県、静岡県、札幌市、新潟市)

2 内容

(1) 中国北京市場セミナー

}	講 師：北京伊藤忠華糖総合加工有限公司 食品事業本部 副総経理兼本部長 藤代久也
	テーマ：「中国流通事情 日本製品をどこに売ればいいのか」
	講 師：北京龍樂広告有限公司 総経理/CEO 山本達郎
	テーマ：「ネットマーケティングで中国市場を攻略せよ！～ECからウェイボーまで～」

藤代講師の講演では、まずはじめに知っておかなければならないこととして、現在の為替レートは1元=14~15円ですが、これを1元=60円と考えること、すなわち、現地の一般のサラリーマンの昼食代10元は600円であり、一般消費者にとって10元の買い物は、150円の買い物ではなく、日本人が600円のものを買うのと同じ感覚であるとのお話がありました。

また、「中国における量販店取引の現実として、過酷な取引条件や売れなければ返品は当たり前といった取引習慣に関する壁等があり、これらの費用に耐えうる資本力が必要である」と、実際の現場における厳しいお話も伺うことができました。

次に山本講師が、中国のインターネット市場や世界の企業・団体がすでに30万以上開設しているウェイボーの概要、さらにはウェイボー上のリアルな動画でフォロワーを引き付けている青森県に関する事例のほか、福島県、札幌市、岐阜県等のサイトを紹介されました。

また、講演の中で、中国通販事業で成功している会社として、芬理希夢(北京)商貿有限公

司の取り組みを紹介され、達家善継董事長兼總經理からは、中国通販事業における商品開発のポイントとして、売れ続ける仕組みを作っていくことが必要であると、商品が市場に誕生するまでのストーリーを打ち出したりと、定期的に継続して買ってもらえるような工夫をされていることをお話しいただきました。

セミナーの最後には、開設したウェイボーが閲覧者と双方向の交流になるための工夫や、地元の中小企業が中国での販路拡大に活路を見出すためには、自治体のどんな支援が求められているのかといった内容について、意見を交わしました。



藤代講師による講演



山本講師による講演

(2) 大手スーパー視察・意見交換

- 視察先：14日 金源新燕莎 MALL 内スーパー-LOTUS
- 15日 新光天地内スーパー-BHG、ジャスコ朝陽大悦城

日系の大手スーパーのほか、中国資本、タイ資本の合わせて3つのスーパーを視察しました。まずは、それぞれの視察先において、現地の売れ筋や輸入品を中心に、売り場を案内していただきました。その後、各店舗の取り組みや特徴について説明をしていただいた後、意見交換を行いました。

意見交換では、北京と上海の消費者の傾向や通関の違い、また、東日本大震災後2年たった今でも、通関の規制により商品が入ってこないことから、日本からの輸入食品と日本式あるいは日本の管理下での現地生産食品の販売に関して、その戦略が変わりつつあることといった、現に直面している課題や今後の取扱商品の動向についてお話を伺うことができました。



BHG での視察



ジャスコ朝陽大悦城での意見交換

3. おわりに

自治体による地域産品の販路拡大を支援する取り組みについては、これまで食品に関する物産展を上海と香港で開催していますが、中国、特に北京を中心としたセミナーの開催については、今回の「中国北京市場開拓セミナー」がはじめての試みでした。

前半の中国北京市場セミナーでは、より多方面から販路開拓を考えるヒントとなるよう、量販店と電子媒体という2つの異なるプラットフォームを取り上げました。

また、大手スーパーの視察・意見交換では、各視察先において、ターゲットとする客層の違い等から、仕入れる商品や販売戦略が異なる点を知り、参加者の皆様が、今後プロモーションを展開する場や売り込む商品の選定等につながるものとなるよう心がけました。

引き続き北京事務所では、自治体の皆様のニーズに沿った事業の開催に努め、自治体の活動を支援していきたいと思っております。

(竹中所長補佐 鳥取県派遣)

